

# 秋田県埋蔵文化財センター一年報

30

平成23年度

2012・3

秋田県埋蔵文化財センター

シンボルマークは、北秋田市白坂（しろざか）遺跡出土の  
「岩偶」です。

縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。





## 序

秋田県埋蔵文化財センターは、昭和56年に開設され、本年度30年になりました。この間本県埋蔵文化財の調査研究と保護活用事業を推進し、文化財保護思想の普及に一定の役割を果たしてまいったと考えております。この年報は今年の本センターの諸活動を集約したものです。

本年は冬の県南地方の大雪、3月11日の東日本大震災、4月7日の余震、6月の水害というように、自然の驚異を日々感じた年でありました。

今年度の調査は、一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業などの記録保存調査を中心に、11遺跡の発掘調査を行いました。にかほ市の阿部館遺跡からは古代の大溝、家ノ浦Ⅱ遺跡からは鍛冶関連工房、祭祀、水場、清水尻Ⅱ遺跡からは古代の馬具の一部と思われる遺物、官道跡などの発見がありました。一層人間と自然との関わり合いを深く感じながらの調査でありました。また、学術調査の仙北市西木町上松木内の高野遺跡では、65カ所の竪穴建物跡が確認でき、保存する必要性を再確認しました。今後の整理作業を通じて各地域の歴史と文化に更なる新素材が加えられればと考えています。

企画展「漆下遺跡～環状列石とその時代～」は、報告書が刊行され、森吉山ダム工事が完了する年にあたり、県内最多の縄文土器等の遺物の中から、厳選して広く県民に紹介した企画でした。企画展の講演会・セミナーをはじめ、広く考古学的発見を紹介する「古代発見！バスツアー」など、各種活用事業を計画通り遂行することができました。

今後とも多くの方々に当センターの事業について一層の御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年3月

秋田県埋蔵文化財センター

所長 高橋 務

# 目 次

## 序 目次

I	沿革	1
II	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設の概要	1
III	秋田県埋蔵文化財センター平成23年度の歩み	2
IV	事業の概要	3
1	発掘調査	3
2	確認調査	3
3	埋蔵文化財発掘調査	4
(1)	平成23年度秋田県内発掘調査遺跡（地図・一覧）	4
(2)	発掘調査概要	6
	ハケノ下遺跡	6
	阿部館遺跡	10
	横枕遺跡	14
	清水尻Ⅱ遺跡	18
	払田柵跡（第143次）	22
	高野遺跡	26
	県立聾学校遺跡	8
	家ノ浦Ⅱ遺跡	12
	清水尻Ⅰ遺跡	16
	六日市遺跡	20
	北檜岡中野遺跡	24
4	刊行物一覧	28
5	活用・普及事業	31
(1)	秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会	31
	①秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会－平成22年度発掘調査成果－	31
	②平成23年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会	31
(2)	遺跡見学会	33
(3)	学校（教育）サポート	34
	①セカンドスクール	34
	②ボランティア・職場体験（インターンシップ）	34
(4)	主催事業	35
	①企画展	35
	②ふるさと考古学セミナー	36
	③古代発見！バスツアー	37
	④出張展示	39
(5)	共催・機関連携等による普及事業	39
	①農業科学館まつり	39
	②土器に生ける秋の草花展	40
	③県庁出前講座	40
	④発掘！考古ゼミ	40
(6)	その他	41
	①所蔵資料・古代体験キット・ビデオの貸出実績	41
	②センターの開放と展示	42
	③収蔵庫整理・収蔵展示	42
(7)	研究論文・講演など	42
6	運営協議会	44
V	平成23年度研修事業	45
VI	職員名簿	46

# I 沿革

昭和55年2月	秋田県埋蔵文化財センター設立計画公表
昭和55年10月26日	建設工事開始
昭和56年8月31日	センター、第1収蔵庫完成
昭和56年10月1日	設置条例施行、職員発令、業務開始
昭和56年11月2日	落成記念式典挙行
平成5年1月	第2収蔵庫完成
平成10年4月2日	鷹巣町に秋田北分室開設
平成11年12月20日	秋田市に秋田整理室開設
平成12年4月4日	秋田整理室が秋田中央分室となる
平成13年4月2日	機構改革により南調査課、北調査課、中央調査課の3課体制となる
平成13年6月20日	秋田県甘肅省文化交流事業により交流員の相互交流開始
平成14年3月2日	秋田県埋蔵文化財センター設立20周年記念式典挙行
平成15年10月17日	秋田県甘肅省文化交流事業磨嘴子遺跡合同発掘調査開始
平成15年10月30日	センター屋根、外壁、内部大規模改修工事
平成17年4月1日	男鹿市に中央調査課男鹿整理収蔵室開設
平成20年3月31日	北調査課、中央調査課閉課
平成20年4月1日	機構改革により総務班・調査班・資料管理活用班・中央調査班の4班体制となる。
平成22年7月1日	秋田市に中央調査班移転

# II 組織・施設

## 1 組織



## 2 施設の概要

本所（総務班・調査班・資料管理活用班）

所在地	〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20		
	TEL 0187-69-3331	FAX 0187-69-3330	
敷地面積			6,962.000㎡
本所建物	鉄筋コンクリート2階建		1,527.304㎡
第1収蔵庫	鉄骨造平屋建		360.000㎡
第2収蔵庫	鉄骨造平屋建		297.680㎡
電気・ポンプ室	平屋建		59.780㎡

中央調査班

所在地	〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町11-1		
	TEL 018-893-3901	FAX 018-893-3899	
敷地面積			1,518.000㎡
建物	鉄筋コンクリート1階建		1,518.000㎡

男鹿収蔵庫

所在地	〒010-0502 秋田県男鹿市船川港比喩字餅ヶ沢200		
敷地面積			55,521.000㎡
建物	鉄筋コンクリート3階建		7,524.360㎡

### Ⅲ 秋田県埋蔵文化財センター平成23年度の歩み

#### 【平成23年】

- 4月1日 平成23年度秋田県埋蔵文化財センター新任式  
4月4日 平成23年度秋田県埋蔵文化財センター中央調査班新任式  
5月8日 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会－平成22年度発掘調査成果－  
(会場：秋田県生涯学習センター)
- 5月14日 第1回ふるさと考古学セミナー「環状列石の時代」(会場：大館市立中央公民館)  
16日 清水尻Ⅰ・Ⅱ遺跡確認調査開始(～5/31)  
19日 阿部館遺跡発掘調査開始(～7/29)  
28日 第1回古代発見！バスツアー 大館市出発「県北の縄文遺跡コース」  
(史跡伊勢堂岱遺跡、高屋館跡、特別史跡大湯環状列石、大館郷土博物館)
- 6月1日 家ノ浦Ⅱ遺跡発掘調査開始(～9/7)  
6日 横枕遺跡発掘調査開始(～10/28)  
8日 第1回埋蔵文化財センター運営協議会(会場：秋田県埋蔵文化財センター)  
清水尻Ⅱ遺跡発掘調査開始(～11/30)  
10日 第2回古代発見！バスツアー 秋田市出発「県北の縄文遺跡コース」  
(史跡伊勢堂岱遺跡、高屋館跡、特別史跡大湯環状列石)  
20日 清水尻Ⅰ遺跡発掘調査開始(～7/22)  
北楯岡中野遺跡発掘調査開始(～8/8)  
25日 第2回ふるさと考古学セミナー「ここまでわかった奈良・平安時代」  
(会場：秋田県埋蔵文化財センター)
- 27日 高野遺跡発掘調査開始(～8/26)
- 7月6日 ハケノ下Ⅱ遺跡確認調査開始(～7/22)  
9日 第3回古代発見！バスツアー 大仙市出発「県南・県央の平安時代コース」  
(金沢柵跡、史跡払田柵跡、埋蔵文化財センター、新山遺跡、史跡秋田城跡)  
16日 出張展示「田沢湖畔の縄文文化～潟前遺跡と黒倉Ⅰ遺跡～」(～8/21)  
(会場：仙北市新潮社記念文学館)
- 24日 阿部館遺跡見学会
- 8月2日 第4回古代発見！バスツアー 秋田市出発「県南・県央の平安時代コース」  
(史跡秋田城跡、新山遺跡、史跡払田柵跡、埋蔵文化財センター、金沢柵跡)  
6日 高野遺跡見学会  
8日 六日市遺跡発掘調査開始(～9/28)  
29日 職員技術研修会(にかほ市発掘現場)
- 9月11日 企画展講演会＋座談会「漆下遺跡が語る縄文社会」(会場：大仙市大曲中央公民館)  
12日 ハケノ下遺跡発掘調査開始(～11/25)  
払田柵跡(第143次)発掘調査開始(～12/8)  
28日 旧秋田県立聾学校遺跡発掘調査開始(～11/30)
- 10月15日 第3回ふるさと考古学セミナー「中世群雄割拠の時代」(会場：秋田県立博物館)  
29日 第5回古代発見！バスツアー 由利本荘市出発「中央・由利の中世城館コース」  
(山根館跡、岩倉館跡、横山遺跡、豊島館跡、虚空蔵大台滝遺跡)
- 11月12日 清水尻Ⅱ遺跡見学会  
14日 船戸遺跡確認調査開始(～11/28)  
19日 第6回古代発見！バスツアー 秋田市出発「中央・由利の中世城館コース」  
(虚空蔵大台滝遺跡、豊島館跡、岩倉館跡、横山遺跡、山根館跡)

#### 【平成24年】

- 2月7日 第2回埋蔵文化財センター運営協議会(会場：秋田県埋蔵文化財センター)  
2月26日 平成23年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会(会場：秋田県生涯学習センター)  
3月6日 秋田県埋蔵文化財センター設立30周年記念式(会場：秋田県埋蔵文化財センター)  
3月17日 高野遺跡報告会(会場：紙風船館)

## IV 事業の概要

### 1 発掘調査

平成23年度に秋田県埋蔵文化財センターが行った各事業別の発掘調査は以下の通りである。

#### 国土交通省関係

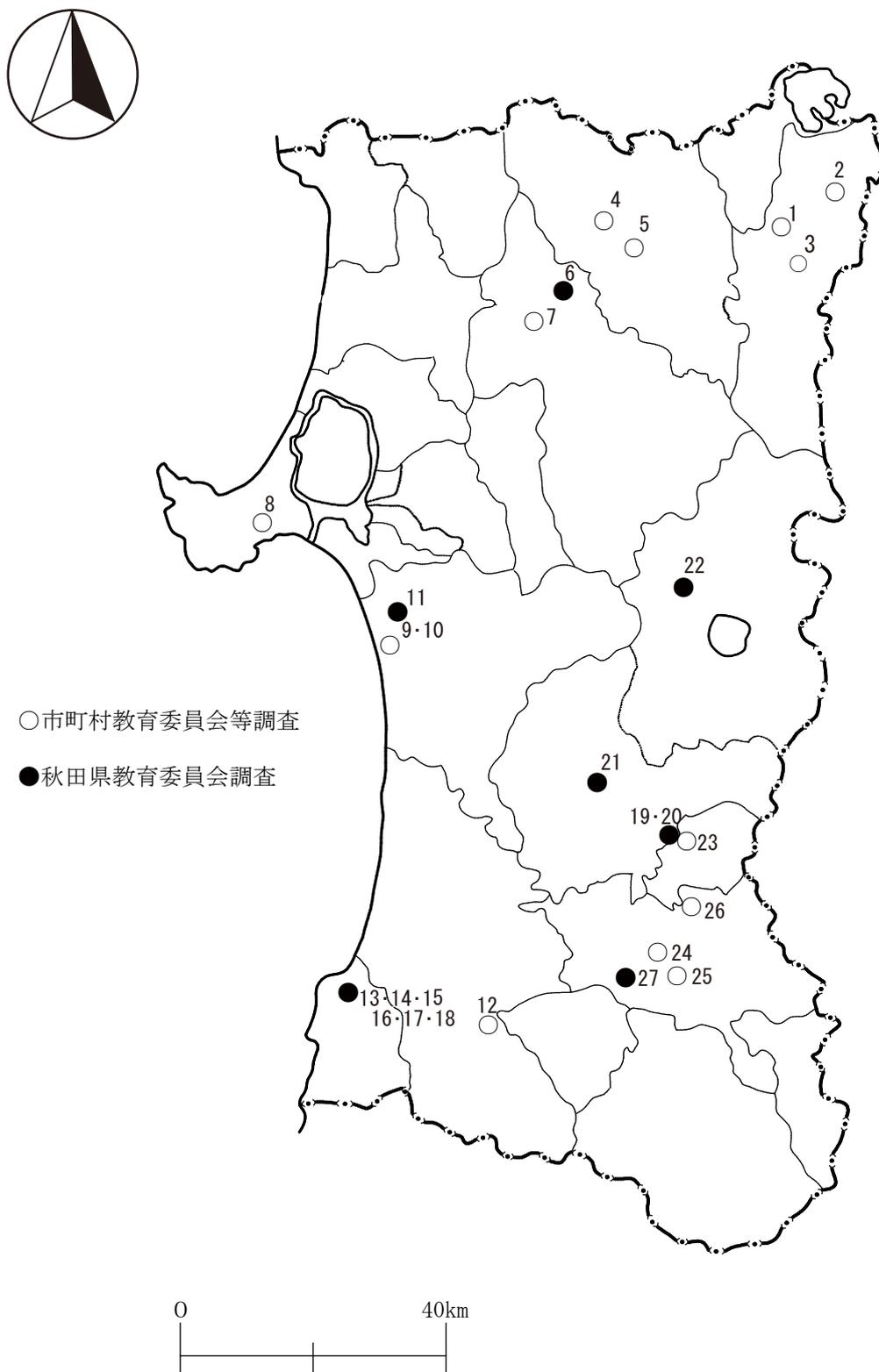
- 一般国道7号鷹巣大館道路建設事業：ハケノ下遺跡
- 一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業：阿部館遺跡
- 一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業：家ノ浦Ⅱ遺跡
- 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業：横枕遺跡
- 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業：清水尻Ⅰ遺跡
- 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業：清水尻Ⅱ遺跡
- 一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業：六日市遺跡
- 一般国道13号神宮寺バイパス建設事業：北楯岡中野遺跡
- 重要遺跡調査事業：高野遺跡
- 旧県立聾学校解体工事：県立聾学校遺跡
- ほ場整備事業（本堂城回地区）：払田柵跡

### 2 確認調査

	事業名	遺跡名・所在地	調査期間	調査担当者
1	一般国道7号鷹巣大館道路建設事業	ハケノ下Ⅱ遺跡 (北秋田市)	7月6日～7月22日	柴田陽一郎 高橋由直
2	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	清水尻Ⅰ遺跡 (にかほ市)	5月16日～5月31日	高橋 学 高橋和成
3	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	清水尻Ⅱ遺跡 (にかほ市)	5月16日～5月31日	高橋 学 高橋和成
4	一般国道13号神宮寺バイパス建設事業	船戸遺跡 (大仙市)	11月14日～11月28日	栗澤光男 山村 剛

### 3 埋蔵文化財発掘調査

#### (1) 平成23年度秋田県内発掘調査遺跡



平成23年度県内発掘調査遺跡の位置

平成23年度県内発掘調査遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積 (㎡)	調査主体者	事業名等	主な時代：性格
1	下内野Ⅲ遺跡	鹿角市十和田大湯字下内野	10/20～11/30	100	鹿角市教育委員会	学術調査	縄文：配石遺構群
2	折戸遺跡	鹿角市十和田大湯字折戸	10/20～11/30	100	鹿角市教育委員会	学術調査	縄文：散布地
3	野中平Ⅲ遺跡	鹿角市十和田錦木字野中平	12/7～12/9	30	鹿角市教育委員会	学術調査	縄文：散布地
4	菅谷地遺跡	大館市早口字菅谷地	6/11～6/16	1,720	大館市教育委員会	開発対応 其他の開発	縄文：集落跡
5	川口十三森遺跡	大館市川口字十三森	6/21～11/16	1,423	大館市教育委員会	開発対応 道路建設	縄文：集落跡 奈良：集落跡
6	ハケノ下遺跡	北秋田市脇神字ハケノ下	9/12～11/25	2,500	秋田県教育委員会	一般国道7号鷹巣大館道路建設事業	鎌倉・江戸：水田跡、集落跡
7	石倉岱遺跡	北秋田市七日市字石倉岱	9/26～10/3	200	北秋田市教育委員会	学術調査	縄文：祭祀場跡
8	史跡脇本城跡 (第20次)	男鹿市脇本脇本字七沢	6/6～10/19	170	男鹿市教育委員会	学術調査	戦国・安土桃山：城館跡
9	史跡秋田城跡 (第98次)	秋田市寺内大小路	4/14～5/27	74	秋田市教育委員会	学術調査	奈良・平安：官衙跡
10	史跡秋田城跡 (第99次)	秋田市寺内焼山	6/30～10/31	741	秋田市教育委員会	学術調査	奈良・平安：官衙跡
11	県立聾学校遺跡	秋田市土崎港北	9/28～11/30	1,165	秋田県教育委員会	旧県立聾学校解体工事	縄文・弥生：集落跡
12	提鍋遺跡	由利本荘市鳥海町上川内字西野	5/9～9/30	1,400	由利本荘市教育委員会	開発対応 学校建築	縄文：集落跡
13	阿部館遺跡	にかほ市両前寺字阿部館	5/19～7/29	4,300	秋田県教育委員会	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業	平安：集落跡
14	家ノ浦Ⅱ遺跡	にかほ市両前寺字家ノ浦	6/1～9/7	3,150	秋田県教育委員会	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業	平安：祭祀場跡、工房跡
15	横枕遺跡	にかほ市平沢字横枕	6/6～10/28	3,600	秋田県教育委員会	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	平安：工房跡
16	清水尻Ⅰ遺跡	にかほ市平沢字清水尻	6/20～7/22	600	秋田県教育委員会	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	平安：畑跡
17	清水尻Ⅱ遺跡	にかほ市平沢字清水尻	6/8～11/30	5,700	秋田県教育委員会	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	平安：集落跡、道路跡
18	六日市遺跡	にかほ市黒川字六日市	8/8～9/28	1,196	秋田県教育委員会	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業	平安：集落跡
19	史跡払田柵跡 (第142次)	大仙市払田字仲谷地	6/6～8/4	145	秋田県教育委員会	学術調査	平安：官衙跡
20	史跡払田柵跡 (第143次)	仙北郡美郷町本堂城回字森崎	9/12～12/9	1,217	秋田県教育委員会	ほ場整備事業（本堂城回地区）	平安：官衙跡
21	北橋岡中野遺跡	大仙市北橋岡字下中野	6/20～8/8	2,000	秋田県教育委員会	一般国道13号神宮寺バイパス建設事業	鎌倉：集落跡
22	高野遺跡	仙北市西木町上松木内字宮田	6/27～8/26	113	秋田県教育委員会	重要遺跡調査事業	平安：集落跡
23	本堂城跡	仙北郡美郷町本堂城回字館間	9/6～10/25	700	美郷町教育委員会	学術調査	戦国・安土桃山：城館跡
24	上猪岡遺跡	横手市平鹿町上吉田字竹原	5/25～7/29	1,300	横手市教育委員会	開発対応 農業関係	平安：窯跡
25	中猪岡遺跡	横手市猪岡字中猪岡	9/5～9/16	400	横手市教育委員会	開発対応 道路建設	平安：集落跡
26	陣館遺跡	横手市金沢中野字根小屋	9/20～12/16	200	横手市教育委員会	学術調査	平安：城館跡
27	造山Ⅲ遺跡	横手市雄物川町造山字造山	11/1～11/15	182	秋田県教育委員会	学術調査	平安：散布地 江戸：集落跡

※番号は、4頁の図に対応する。太字の遺跡名は次頁以降に概要を掲載している遺跡。

(2) 発掘調査概要

# は け の した ハケノ下遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県北秋田市脇神字ハケノ下149外
調査期間	平成23年9月12日～11月25日
調査面積	2,500㎡
遺跡の時代	中世～近世
遺跡の性格	集落跡、水田跡
事業名	一般国道7号鷹巣大館道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所
調査担当	菅野美香子、佐々木尚人

## 【調査概要】

検出遺構			主な出土遺物	
中世	掘立柱建物跡	7棟	中世～近世	陶磁器
中世	柱穴様ピット	210基		石器
中世～近世	水田跡	6面		木製品
時期不明	土坑	1基		金属製品

ハケノ下遺跡はJR鷹巣駅から南東へ約3.7km、大野台台地の直下の沖積地に位置する。遺跡の東側には米代川の支流である小猿部川が北流する。遺跡の標高は約28mである。

調査の結果、中世鎌倉時代の掘立柱建物跡、柱穴様ピット、中世末～近世にかけての水田跡、時期不明の土坑を検出し、陶磁器、石器、柱材を含む木製品、銭貨などの金属製品が出土した。

掘立柱建物跡は、13.2×9.8m（7×5間）、8.0×8.9m（4×4間）、9.1×6.6m（5×4間）などがあり、いずれも軸方向は同じである。3棟の重複が認められることから、少なくとも2回の建て替えが行われたものと推定される。掘立柱建物跡のうち2棟は、柱材の一部が良好な状態で出土した。柱材は幅25cm前後の角材で、埋設部分のみが残存する。柱材が柱穴の底面から20cm程度沈み込んでいるものや、礎板が複数入れられているものがあることから、軟弱地盤であったことがうかがわれる。

水田は6面検出し、1か所で水口を確認した。水田は西側が高く、東側が低い。水田面と畦畔の比高は15～20cm程度であるが、畦畔の両脇は水田面より若干深い。これは畦畔を造成する際に土を掻き取った痕跡と推定される。

本遺跡では、中世鎌倉時代には集落が営まれ、集落廃絶後に開墾された後は現在に至るまで連綿と水田が営まれていたものと考えられる。



調査区遠景（北西から）



掘立柱建物跡群（真上から）  
上が南西



掘立柱建物跡の柱材  
（南西から）

けんりつろうがっこう  
県立聾学校遺跡

【調査要項】

所在地	秋田県秋田市土崎港北2丁目17外
調査期間	平成23年9月28日～11月30日
調査面積	1,165㎡
遺跡の時代	縄文時代、弥生時代
遺跡の性格	集落跡
事業名	旧県立聾学校解体工事
事業関係機関	秋田県教育委員会
調査担当	築瀬圭二、村上義直

【調査概要】

検出遺構	主な出土遺物
縄文・弥生時代	縄文・弥生時代
土坑 5基	土器
焼土遺構 1基	土製品（X字形土偶）
柱穴様ピット 2基	剥片石器（石鏃・石匙） 礫（搬入礫）

県立聾学校遺跡はJR奥羽本線土崎駅より北東へ0.8km、日本海から約2.9km東にあり、陸上自衛隊秋田駐屯地の西隣に位置する。調査対象範囲の現況は、宅地に隣接する標高10m前後のほぼ平らな学校用地である。大正元年測図の大日本帝国陸地測量部発行の2万5千分の1地形図では、遺跡の東側標高が11.6mと周辺より高く、もともとは起伏のある砂丘地の松林であった。昭和20年代初頭には牧草地として利用され、その後の聾学校建設時（昭和26年）に大規模な土地造成が行われ、現在のような学校用地になったと考えられる。

調査の結果、土坑5基、焼土遺構1基、柱穴様ピット2基の遺構が検出された。土坑の平面形は、直径約0.6～1.0m、確認面からの深さは、約0.1～0.4mである。詳細な時期や性格は不明だが、土坑からは縄文土器の破片が出土し、遺構の確認面からは縄文時代や弥生時代の土器が出土したことから、縄文もしくは弥生時代の遺構であると考えられる。出土遺物には、縄文時代中期～弥生時代中期の土器やX字形土偶、剥片石器などがある。このうち、石器は様々な形態の石鏃や剥片が比較的まとまって出土した。石鏃は15点出土し、その一部には天然アスファルトが付着する。また、2点の二次加工ある剥片と6点の剥片が接合した。遺跡内で石器製作が行われたものと考えられる。

遺構や遺物は標高約8.1～9.7mのほぼ北西－南東方向に延びる砂丘の西向きの緩やかな斜面上に分布する。当時の生活面である、この斜面に連続する東側の高位面は、今回の調査で削平されていることが判明した。調査では居住施設は未検出であるが、削平された高位面に存在していた可能性があり、今回の調査区は集落の一部であったと考えられる。



調査区全景  
(北西から)



土坑検出状況  
(西から)

8点の剥片石器接合状況



8点の剥片石器



8点の剥片石器と  
接合状況

# あべだて 阿部館遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市両前寺字阿部館28-1外
調査期間	平成23年5月19日～7月29日
調査面積	4,300㎡
遺跡の時代	平安時代
遺跡の性格	集落跡（平安時代）
事業名	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	山田徳道、水品仁志

## 【調査概要】

検出遺構				主な出土遺物	
平安時代	掘立柱建物跡	2棟	大溝跡	1条	平安時代 須恵器 土師器 鉄製品
	井戸跡	3基	土坑	23基	井戸部材 曲物
	鍛冶関連遺構	1基	柵跡	3条	
	柱穴様ピット	219基			

阿部館遺跡はJR羽越本線仁賀保駅より北東へ約1.2km、日本海を望む仁賀保丘陵西斜面中腹にある標高33m前後の平坦面上に立地する。調査の結果、平安時代の掘立柱建物跡、大溝跡、井戸跡、土坑、柵跡などを検出した。出土した遺物は、平安時代の須恵器、土師器、鉄製品、木製品などである。

遺跡の初現時期に属すると考えられる遺構は、最大幅約5m、深さ約1.6m、長さ約80mの大規模な大溝跡である。大溝は平坦面の中央部を弧状に巡っており、その内側を区画したものと考えられる。本溝跡は、出土遺物から9世紀半ば前後に埋没したものと推定される。この大溝によって区画される同時期の遺構には、掘立柱建物跡や井戸跡などがある。調査区東側で検出した掘立柱建物跡の規模は桁行約6.6m、梁行約5.5mである。この建物跡に隣接する井戸跡は、4本の隅柱に横棧をほぞで組み、その外側に縦板を立て並べて構築され、底部には水溜とする径42cm、高さ32cmの曲物を据えている。大溝埋没後には、長さ2m前後の隅丸長方形平面で、深さ0.5m前後の土坑が15基つくられる。これらの土坑は一気に埋め戻されており、中には副葬品の可能性がある鉄製品が出土した遺構もあることから、古代の土坑墓であったものと推定される。土坑墓群は長軸方向が北東方向のものと北西方向のものに大きく分かれる特徴的な配置を示しており、被葬者の性格の違いによって墓穴の向きを区別した可能性が推測される。

今回の調査で確認した遺構のうち、9世紀半ばごろの大溝跡については、現在のところ、県内にはこれだけの規模を有する同時期の類例は認められない。また、一定範囲に集中する古代の土坑墓群や井戸部材が良好な状態で残存する類例も稀である。これらのことから、本遺跡は、にかほ地域の古代の様相を検討する上で重要な位置を占めるものと考えられる。



大溝跡  
(南東から)



土坑墓群  
(南から)



井戸部材検出状況  
(南西から)

# いえのうら 家ノ浦Ⅱ遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市両前寺字家ノ浦1-1外
調査期間	平成23年6月1日～9月7日
調査面積	3,150㎡
遺跡の時代	古代（平安時代）、中世
遺跡の性格	工房跡、祭祀場、水場
事業名	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	築瀬圭二、村上義直

## 【調査概要】

検出遺構		主な出土遺物	
古代（平安時代）・中世		古代（平安時代）	
掘立柱建物跡	1棟 敷石遺構 1基	須恵器	土師器 緑釉陶器 灰釉陶器
土坑	62基 集石遺構 1基	木製品	鉄滓
火葬墓	2基 溝跡 18条	中世	
焼土遺構	13基 柱穴様ピット 447基	陶磁器	
鍛冶炉	1基		

家ノ浦Ⅱ遺跡はJR羽越本線仁賀保駅の北東約1.2km、両前寺川右岸にある丘陵地（標高20m前後）に立地する。西側に見える日本海までの距離は、0.6kmほどである。

調査の結果、家ノ浦Ⅱ遺跡は平安時代の9世紀の終わり頃から10世紀前半にかけての時期を中心とする遺跡であることが明らかとなった。

平安時代の掘立柱建物跡は、調査区中央部の平坦面で1棟検出された。桁行が7.7m（北西－南東）、梁行が6.7m（北東－南西）で3間×2間の大きさがあるが、今のところ性格は不明である。建物跡の北東側からは、幅0.8～1.8m、深さ0.5m、長さ54mの溝跡が検出された。溝の中には、1.8m×1.7mの範囲で小石を敷き並べた敷石遺構があり、祓などの儀式を行う特別な場所だった可能性がある。溝跡周辺では、石を載せた土器など特殊な出土状況を示す土器が見られることから、溝周辺において地鎮や除災を目的とした祭祀が行われていたと考えられる。中央部の平坦面からは、他に鍛冶炉や鍛冶滓など鍛冶作業を示唆する遺構・遺物も検出されている。北側の沢地は、いわゆる水場的な性格が考えられ、椀、皿、曲物、箸などの木製品や土師器、須恵器、緑釉陶器などが出土している。

以上のように、当遺跡は鍛冶関連の工房、祭祀の場、水場という3つの性格をもつことが分かった。これらの性格の違いは時期差に起因する可能性もあるため、詳細な分析が必要である。今回出土した緑釉陶器には、K-90窯式碗の優品が含まれ、隣接する家ノ浦遺跡から昨年度出土した「中将」と記された題箋軸木簡や石帯とともに官衙との関わりや有力者の存在をうかがわせる重要な遺物といえる。

調査区全景  
(南から)



掘立柱建物跡  
(西から)



敷石遺構  
(南から)



よこまくら  
横枕遺跡（第2次調査・南区）

【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市平沢字横枕73-2外
調査期間	平成23年6月6日～10月28日
調査面積	3,600㎡
遺跡の時代	古代（平安時代）～近世（江戸時代）
遺跡の性格	工房跡
事業名	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	袴田道郎、山村 剛

【調査概要】

検出遺構				主な出土遺物		
古代（平安時代）				古代（平安時代）		
竪穴建物跡	3棟	土坑	9基	溝跡	10条	土師器（坏・甕）
焼土遺構	4基	土器埋設遺構	1基	柱穴様ピット	214基	須恵器（坏・甕）
近世以降						
柱穴列	4条	性格不明遺構	1基			

横枕遺跡はJR羽越本線仁賀保駅の東約0.8kmに位置し、国道7号線東隣の丘陵西斜面の畑地に立地する。北側を両前寺川、南側を琴浦川に画され、標高は20～42m前後である。遺跡全域は30,000㎡以上にわたって広がると推定されるが、昨年度北側部分（北区）6,200㎡を調査したのに引き続き、今年度は琴浦川寄りの遺跡南側部分（南区）3,600㎡を調査した。

調査の結果、遺跡旧地形は、ほとんどが地滑り等に起因する起伏に富む急斜面～緩斜面であったことが判明し、そのうち、狭小な平坦面3地点で平安時代中頃の竪穴建物跡や鍛冶工房跡などを検出した。竪穴建物跡は合計3棟確認した。うち1棟は南端の張り出した尾根上の狭小な平坦面に立地し、小型の小屋状のものである。残りの2棟は調査区北東側の高位部に南北方向に並んでいる。いずれもカマドを伴わず、作業小屋的な性格のもので推定される。南西端では、地滑りによるすり鉢状地形に整地地業を施して造成した鍛冶工房跡を検出した。当該工房跡は山側に「L」字形に排水溝を巡らし、その一端に水溜用の大型土坑が取り付く。溝に囲まれた内側には、焼土遺構4基のほか柱穴群が分布し、掘立柱建物が伴うと推測される。このほか須恵器坏が正位に埋設されたり、大型の平坦な石が埋設された小型の土坑も2基並んで検出され、何らかの儀礼行為が行われた可能性も推定される。

横枕遺跡周辺には、立沢遺跡をはじめとした同時期の集落跡が密集し、一連の遺跡群と捉えることも可能である。その中で横枕遺跡は鍛冶作業等の特定の生産活動を担った可能性がある。



遺跡遠景  
(南から)



南西端の鍛冶工房跡  
(北から)



2棟並んだ縦穴建物跡  
(南から)

# しみずじり 清水尻 I 遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市平沢字清水尻93-25外		
調査期間	平成23年6月20日～7月22日		
調査面積	600㎡		
遺跡の時代	平安時代		
遺跡の性格	畑耕作地		
事業名	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業		
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所 にかほ市教育委員会		
調査担当	高橋 学、高橋和成		

## 【調査概要】

検出遺構				主な出土遺物				
平安時代	畑跡	1か所	土坑	4基	平安時代	須恵器	土師器	鉄製品
	焼土遺構	1基	溝跡	4条		炭化種子・米		
	道路跡	1条	柱穴	16基				

清水尻 I 遺跡は J R 羽越本線仁賀保駅から南東約0.8km、日本海汀線まで1.2kmの仁賀保丘陵西側縁辺部で带状に取り残された古期砂丘面上に立地する。同面は東側の急斜面地と西側の狭い平坦地からなるが、遺構・遺物が確認されたのは標高約24mの後者平坦地に限定される。

調査の結果、平安時代の畑跡が検出され、その周囲から幅1～2.5mの道路跡（硬化面）や土坑、溝跡、焼土遺構などが確認できた。出土遺物は9世紀代の須恵器、土師器の他、畑跡から採取した土壌内から炭化種子・米が抽出できた。

畑跡は、遺構としては東西に並行する複数の溝跡を確認できたのみであるが、その配置状況から、溝跡を畝間にあたる溝（畝間溝）と考え、畑と判断した。土壌分析の結果、栽培植物のイネが確認では稲作（陸稲）が想定されたが、耕作に伴う人為活動（施肥や野焼きなど）による残留した植物体由来する可能性も考慮する必要がある。畑跡の周囲には道路がL字に巡り、内側全域が畑とすればその規模は東西約12m、南北12m以上となる。畑・道路で画された外側には大型の土坑や溝跡も確認され、これらも畑耕作に伴う施設と類推される。土坑は長径4.4m、短径3.7mの略円形で、深さが約1.3mの播鉢状を示す。土坑側面には白色粘土状の付着物が認められ、これが意図的な行為（粘土貼付）とすれば、砂地における貯水施設であったのかもしれない。土坑に近接して幅2m前後、深さ約1.2mの溝が20m以上にわたり確認された。検出位置や底面レベルを観察すれば、畑から南西方向に延びる排水溝と判断される。溝跡は少なくとも4時期の変遷を伴う。

本畑跡は出土遺物から9世紀後半代を中心とする時期に限定される。秋田県内で畑跡が検出されているのは、小坂町はりま館遺跡での一件のみである。はりま館例は11世紀段階の耕作と見られていることから、県内では最古例の遺構となる。

調査区全景と溝跡  
(南西から)



畑跡  
(西から)



大型の土坑  
(北西から)



# しみずじり 清水尻Ⅱ遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市平沢字清水尻93-30外
調査期間	平成23年6月8日～11月30日
調査面積	5,700㎡
遺跡の時代	弥生時代、平安時代、中世、近世
遺跡の性格	集落跡（弥生時代・平安時代・中世・近世）、墓地（中世・近世）
事業名	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所 にかほ市教育委員会
調査担当	高橋 学、高橋和成、高橋由直、田村瑞保

## 【調査概要】

検出遺構				主な出土遺物				
弥生時代	土坑	1基	溝跡	1条	弥生時代	土器	石器	剥片
平安時代	竪穴遺構	4基	テラス状遺構	3基	平安時代	須恵器	土師器	製塩土器
	道路跡（側溝）	14条				鉄製品	青銅製品	土製品
	焼土遺構	土坑	柱穴			石製品（砥石）	馬歯	
中世	竪穴建物跡	6棟			中世	陶器	石硯	銭貨
	積石塚	1基	土坑	柱穴	近世	陶磁器	鉄製品（小札）	銭貨
近世	竪穴建物跡	1棟						
時期不明	集石遺構	18基	土坑・焼土遺構・柱穴					

清水尻Ⅱ遺跡はJR羽越本線仁賀保駅から南東約0.9km、日本海汀線まで1.3kmの仁賀保丘陵西側縁辺部に立地する。調査区は東側から西側に向かって緩く傾斜し、標高は最高位で約30m、丘陵端部で約20m、南西側の微高地部では約12mである。北側に隣接する清水尻Ⅰ遺跡が立地する古期砂丘面は西側丘陵端の一部で確認される。

調査の結果、弥生時代（前期）、平安時代（9世紀代）、中世（13・16世紀代）、近世（17世紀初頭）の竪穴建物跡、竪穴遺構、土坑などが検出され、中世以降の墓（積石塚・集石遺構）と想定される遺構も確認できた。遺物は各時代・時期の遺物が多く出土しているが、全体の9割は平安時代の土器類である。

特筆すべき遺構は、平安時代の道路跡の検出である。路面そのものは不明瞭であったが、側溝が溝跡あるいは硬化面として確認された。道路側溝は上幅が1m前後、推定路面幅6m、確認された延長は断続的ながら93mに達する。ほぼ同一箇所側溝は造り替えられ、少なくとも7時期の変遷がある。側溝が造り替えられる前に十和田a火山灰（915年降灰）が降下していることが確認され、出土遺物とあわせてみると本道路は、9世紀から10世紀前半代にかけての造成作業と判断される。また、周辺地形を観察すると道路跡背後の丘陵地が不自然な景観を示すことから、道路造成に伴い丘陵裾部を意図的に削平したと類推される。このような造成工事やその規模から本道路は、古代律令制下における官道であった可能性が高いと言えよう。

調査区全景  
(南西から)



古代の道路跡を示す側溝  
(南西から)



中世の竪穴建物跡  
(南西から)



むい か いち  
六日市遺跡

【調査要項】

所在地	秋田県にかほ市黒川字六日市136外
調査期間	平成23年8月8日～9月28日
調査面積	1,196㎡
遺跡の時代	古代（平安時代）、中世（鎌倉時代）
遺跡の性格	集落跡、工房跡
事業名	一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所
調査担当	山田徳道、水品仁志

【調査概要】

検出遺構			主な出土遺物		
平安時代	竪穴建物跡	2棟	平安時代	土師器	須恵器
	土坑	9基		鍛冶滓	
	溝跡	2条			
	柱穴様ピット	56基			
鎌倉時代	溝跡	1条			

六日市遺跡は、JR羽越本線仁賀保駅より南東へ約2kmの白雪川右岸の沖積低地に立地する。白雪川は流路の付け替え工事を行っており、本来は調査区の南側から東側を経て北側を大きく蛇行していた。遺跡は旧河道湾曲部内側、標高約18mの相対的な微高地に位置し、水田や畑地として利用されていた。

調査の結果、調査区北東部を中心に竪穴建物跡2棟、土坑9基、溝跡3条、柱穴様ピットを検出した。調査区北部で検出した竪穴建物跡は、長軸約3.5m、短軸約2.7m、深さ約0.4mで、竪穴の四隅に柱穴がある。竪穴からは土師器の他に鍛冶滓や炭化物が出土していることから、鍛冶工房跡の可能性が考えられる。また中央部の竪穴建物跡は、長軸約8mの楕円形を呈し、その内側に十数基の柱穴と礫を伴うカマドの痕跡を確認した。竪穴からは土師器の他に、須恵器も数点出土した。検出した炭化物の年代測定では、2棟の建物跡には時期差が想定されるが、出土した遺物から共に平安時代の遺構と考えられる。調査区西部の比較的大きい溝跡は、幅約1.7m、深さ約0.6m、長さ約17mで、西北西－東南東に直線的に伸び、両端は播鉢状に立ち上がる。検出した炭化物の年代測定から鎌倉時代の遺構と推定されるが、現状ではその性格は不明である。

以上から、本遺跡は鍛冶工房を伴う平安時代の集落跡の一部と考える。また、鎌倉時代の可能性のある溝跡が存在することや竪穴建物跡よりも新しい時代と推定される柱穴が存在することから、中世においても掘立柱建物を伴う集落があった可能性も想定される。

調査区全景  
(南東から)



平安時代の竪穴建物跡  
(南東から)



鎌倉時代の溝跡  
(東から)



ほったのさくあと  
弘田柵跡 (第143次)

【調査要項】

所在地	秋田県仙北郡美郷町本堂城回字森崎31-2外
調査期間	平成23年9月12日～12月9日
調査面積	1,217㎡
遺跡の時代	平安時代
遺跡の性格	城柵官衙遺跡
事業名	県営ほ場整備事業(本堂城回地区)
事業関係機関	秋田県仙北地域振興局農林部農村整備課・美郷町教育委員会
調査担当	加藤 竜

【調査概要】

検出遺構		主な出土遺物	
平安時代	材木堀角材列 7か所 溝跡 6条 河川跡 12か所	平安時代	土師器 須恵器 木製品 鉄製品

弘田柵跡は、律令国家が本州の北部を支配するために設置した行政・軍事を司る城柵の一つで、平安時代の9世紀初めに作られ、10世紀後半まで存続する。昭和6年に秋田県初の国指定史跡となり、昭和49年度から毎年、学術調査を実施している。第143次調査は、3か年で計画された史跡内の用排水路の改修に伴う現状変更調査の1年目に当たる。調査対象地区は柵内の北東部沖積地にあり、標高は35m前後である。

今回の調査における主要な成果の一つとして、外柵の材木堀角材列の正確な位置を把握できた点を挙げる事ができる。調査対象の水路と外柵が交差する7地点のうち、2か所で角材列を検出し、他の5か所では角材を設置するための布掘溝跡を確認した。角材列が検出された地点では、一辺22～27cmほどの角材が幅60cm内外の布掘溝跡の中心に整然と並んでいた。布掘溝跡のみ検出した地点のうち1か所では、下部から角材の下に敷かれたと推測される礎板が並んだ状態で出土した。調査対象地区においては過去の調査事例が少なく、外柵の位置は大部分が不明確であった。今回の調査により、外柵の一部は現在の推定ラインよりも5mほど外側に膨らむことが確認された。

外柵内においては複数の河川跡も検出している。過去の調査により、調査区近辺の河川跡は2水系に分けられることが推定されており、今回の調査で確認した河川跡はその検出位置から、2水系のうち長森丘陵に近い側の水系に接続するものと考えられる。以前調査された外柵内南東部沖積地では、2水系間の微高地上において複数の土坑や柱穴が検出され、隣接する厨川谷地遺跡との比較から、祭祀を執り行う場であった可能性が指摘されている。今回の調査では土坑等の検出は無く、祭祀遺物や祭祀行為に伴う遺物出土状況は確認されていないため、現状では外柵北東部沖積地において積極的に祭祀域の存在を指摘するのは困難である。

第143次調査区遠景  
(外郭東門より撮影  
南西から)



外柵の材木塀角材列  
検出状況  
(北から)



外柵布掘溝跡からの  
礎板出土状況  
(南から)



きたならおかなかの  
北檜岡中野遺跡

【調査要項】

所在地	秋田県大仙市北檜岡字下中野33外
調査期間	平成23年6月20日～8月8日
調査面積	2,000㎡
遺跡の時代	中世以前
遺跡の性格	集落跡（中世）
事業名	一般国道13号神宮寺バイパス建設事業
事業関係機関	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
調査担当	栗澤光男、佐々木尚人

【調査概要】

検出遺構			主な出土遺物	
中世以前	竪穴状遺構	1棟	縄文時代	石器（磨石）
	溝跡	3条		
	土坑	2基		

北檜岡中野遺跡は、JR奥羽本線神宮寺駅から北西へ約4.6km、南北に走る国道13号の西側である。遺跡の西方を北流する雄物川右岸の標高19～20mの河岸段丘上に立地する。今回の調査は昨年に続いて2年目の調査である。調査は南から北に向かって開始した。

調査の結果、竪穴状遺構、土坑、溝跡の遺構を検出した。竪穴状遺構は調査区東端中央で検出した。大きさは長軸は4m、短軸は3.2mで平面形は長方形である。遺構の深さは0.1m～0.2mである。土坑は2基検出され、1つは竪穴状遺構の中で、もう1基はその竪穴状遺構から南西方向6mの所である。竪穴状遺構内にある土坑は長軸は2.3mで短軸は0.9mで平面形は楕円形である。土坑の深さは約0.2mである。竪穴状遺構より南西にある土坑は長軸が2.3mで短軸が2mでほぼ円形である。遺構の深さは約0.2mでどちらの土坑からも遺物は検出されなかった。溝跡は3条検出した。調査区北側に検出された溝跡は両端とも調査区外まで伸びていた。溝幅は約0.9m～1mである。全長は確認出来る範囲で約32mにも及んだ。調査区外に伸びていることを考慮すると大きな溝であったと推測される。溝の深さは約0.5mである。調査区の中央付近から検出された溝跡は調査区を東西に横切っている。西側は水田により攪乱され先は確認出来なかったが東側は調査区外にまで伸びていた。溝幅は約1.2m～1.4mである。全長は約33mだが、まだ調査区外へ伸びていると考えられる。溝の深さは約0.4m～0.6mと東に進むにつれやや深くなっている。調査区南端で検出された溝跡は溝幅は約0.5m～0.6m、全長は約8m、深さは約0.1mである。前の2条の溝跡と比較すると小ぶりである。3条の溝は共にU字型の断面をもち凹凸も少なく滑らかな形状を呈している。

この遺跡からの出土遺物は少なく時期を特定しにくい、前年調査した結果などから考察するに中世以前の集落跡の一部であると考えられる。

調査区全景  
(南→東)



建物状遺構完掘状況  
(南西→北東)



溝状遺構完掘状況  
(西→東)



# たかの 高野遺跡

## 【調査要項】

所在地	秋田県仙北市西木町上松木内字宮田188-1ほか
調査期間	平成23年6月27日～8月26日
調査面積	113㎡
遺跡の時代	縄文時代、古代（平安時代）
遺跡の性格	散布地（縄文時代）、集落跡（古代）
事業名	重要遺跡調査事業
調査担当	加藤 竜、菅野美香子

## 【調査概要】

検出遺構		主な出土遺物	
古代 竪穴建物跡	65棟	縄文時代 縄文土器、石器	
溝跡	1条	古代 土器（土師器・須恵器）	土錘 羽口
柱穴様ピット	7基	砥石 鉄製品 鉄滓	

高野遺跡は松木内川と浦子内沢に挟まれた標高300～320mの舌状台地上に位置する。竪穴建物跡と推定される窪みが埋まりきらずに残っており、古くからその存在が知られていた。

今回の調査では、窪み2か所の発掘調査、新規の窪みの有無の確認、すべての窪みの計測調査を行った。踏査の結果、これまで確認されていた47か所の窪みの他に、南東部で新たに18か所を確認し、窪みは全部で65か所存在することが明らかとなった。窪みはいずれも概ね円形を呈し、現状で確認できる窪みの規模は、最大で径約10.5m、最小で径約2.5mである。窪みの深さは最大で1.3mである。

発掘調査は北西部のA-11竪穴建物跡と南東部のB-27竪穴建物跡を対象とした。A-11竪穴建物跡ではトレンチ調査を行い、窪みの最深部を中心に十字の試掘坑を掘削した。調査の結果、炭化した壁板や、多量の焼土が検出されたことから、A-11竪穴建物跡は焼失住居と考えられる。南西側の壁際には、伏せられた甕が出土し、南東側の壁際からは2点の砥石が出土している。

B-27竪穴建物跡ではトレンチ調査の後、拡張して竪穴の四隅まで検出した。この竪穴は一辺約5.5mの正方形平面をなし、四隅に柱穴をもち壁溝が巡る。南東壁の南寄りには石組みのカマドがあり、東寄りには出入口と推測される壁溝の切れ目と一対の小柱穴を確認した。柱や壁板などの構造材やそれらの設置痕跡は遺存しておらず、建物が解体された後埋め戻されたと考えられる。

調査した竪穴の周辺は、どちらも掘り上げの際の排出土で盛り上がっていた。この排出土より下の層から、いずれも十和田a火山灰を検出したことから、竪穴は10世紀前葉以降と考えられる。

地域住民の話によれば、現在確認されている遺跡の範囲外にも、遺跡の北西側付近で窪みが数か所存在していたとのことである。このことから、遺跡周囲には現在確認できる65か所のみでなく、さらに多くの窪みが近年まで存在していたものと推定される。

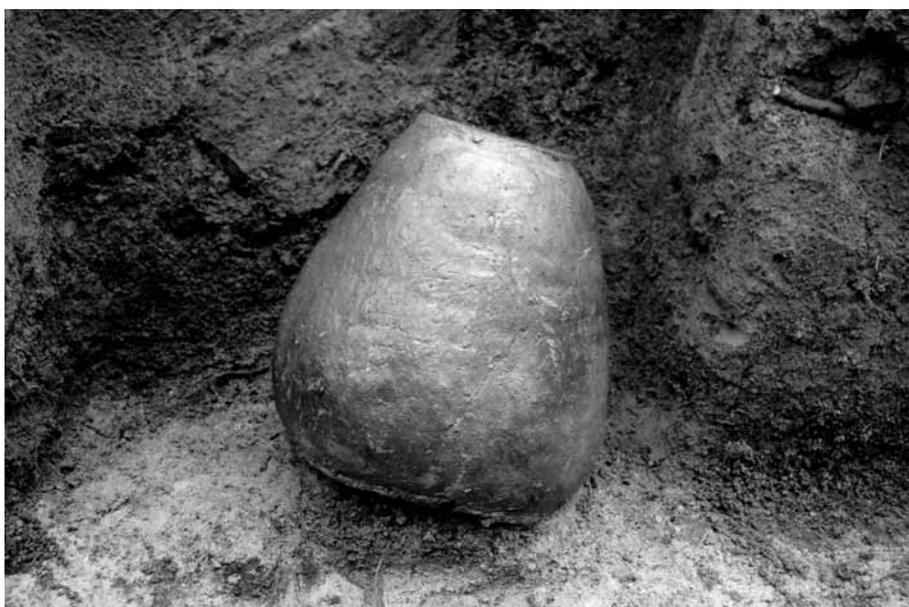
遺跡遠景（南東から）



A-11 竪穴建物跡  
確認状況（北東から）  
※奥に人が立っている場  
所は A-10 竪穴建物跡



A-11 竪穴建物跡  
出土土師器（南東から）



4 刊行物一覧

遺跡名	前田表遺跡	発掘調査年	22年	発行年月	23年7月
書名	秋田県文化財調査報告書第469集 前田表遺跡 — 一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ —				
内容	遺跡の時代	平安時代			
	遺跡の性格	集落跡			
	検出遺構	竪穴建物跡2棟、集石遺構1基、土坑4基、焼土遺構7基、 土器埋設遺構1基、柱穴様ピット50基			
	出土遺物	須恵器、土師器、四耳壺			

遺跡名	黒沼下堤下館跡	発掘調査年	22年	発行年月	23年7月
書名	秋田県文化財調査報告書第470集 黒沼下堤下館跡 — 一般国道13号河辺拡幅事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 —				
内容	遺跡の時代	縄文時代、平安時代、近世			
	遺跡の性格	縄文時代：遺物散布地、平安時代：集落跡、近世：墓地			
	検出遺構	平安時代：竪穴建物跡2棟、竪穴・掘立柱併用建物跡1棟、 テラス状遺構1基、柱列10条、焼土遺構2基、土坑 近 世：土坑墓6基 時期不明：段築10か所、掘立柱建物跡1棟、土坑9基、柱穴様ピット			
	出土遺物	縄文時代：土器、石器 平安時代：土師器、鉄滓、羽口、炭化米、棒状礫（もじり網の錘） 近 世：人骨、銭貨〈寛永通寶〉、青銅製品（半合羽ボタン）、鉄製品（釘）			

遺跡名	月見堂館跡	発掘調査年	22年	発行年月	23年7月
書名	秋田県文化財調査報告書第471集 月見堂館跡 — 一般国道46号角館バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 —				
内容	遺跡の時代	縄文時代、中世			
	遺跡の性格	縄文時代：散布地、中世：城館跡			
	検出遺構	縄文時代：土坑2基、配石遺構1基 中 世：竪穴建物跡1棟、掘立柱建物跡1棟、かまど状遺構2基、 溝跡5条、柱穴様ピット92基			
	出土遺物	縄文時代：土器、石器 中 世：陶器、石製品			

遺跡名	小谷地遺跡	発掘調査年	21年	発行年月	23年10月
書名	秋田県文化財調査報告書第472集 小谷地遺跡 — 地方道路交付金事業主要地方道男鹿琴丘線建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 —				
内容	遺跡の時代	奈良・平安時代、中世			
	遺跡の性格	生産遺跡（水田耕作域）			
	検出遺構	奈良・平安時代：掘立柱建物跡1棟、土坑1基、道路状遺構2条、 足場状遺構2基、堰遺構1基、水路跡2条、 杭列5条、矢板状遺材打設遺構4基、杭集中地点3か所、 柱状遺材出土地点7か所、遺材・木製品集中地点4か所、 性格不明遺構2か所 中世：杭列1条、遺物集中地点1か所			
	出土遺物	奈良・平安時代：須恵器、土師器、土製品、石器、石製品、建築転用材、 木製品、丸靱 中世：須恵器系陶器、青磁、木製品、鉄滓			

遺跡名	家ノ浦遺跡	発掘調査年	22年	発行年月	24年2月
書名	秋田県文化財調査報告書第473集 家ノ浦遺跡 — 一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書V —				
内容	遺跡の時代	平安時代、中世			
	遺跡の性格	集落跡			
	検出遺構	平安時代～中世：竪穴建物跡2棟、掘立柱建物跡25棟、土坑39基、 井戸跡2基、溝跡13条、焼土遺構3基、 柱穴様ピット1,298基			
	出土遺物	弥生時代以前：弥生土器、石器 平安時代：土師器、須恵器、丸靱、木簡、風字硯、灰釉陶器 中世：銭貨（緡銭1,201枚、他13枚）、白磁、青磁 平安時代～中世：刀子、鉄製品、鉄滓、鍛造剥片、砥石			

遺跡名	白館跡	発掘調査年	22年	発行年月	24年3月
書名	秋田県文化財調査報告書474集 白館跡 — 一般国道13号院内道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 —				
内容	遺跡の時代	縄文時代			
	遺跡の性格	石器製作跡、墓域、集落			
	検出遺構	縄文時代：竪穴建物跡1棟、掘立柱建物跡1棟、土坑28基、土坑墓6基、 フラスコ状土坑5基、焼土遺構12基、柱穴様ピット22基 近・現代：土坑4基			
	出土遺物	縄文時代：土器、石器、石製品 中世・近世：陶磁器			

書名	秋田県文化財調査報告書第475集 遺跡詳細分布調査報告書	調査年	23年	発行年月	24年3月
内容	平成23年度に実施した遺跡分布調査と確認調査の報告				

遺跡名	高野遺跡	発掘調査年	23年	発行年月	24年3月
書名	秋田県文化財調査報告書第477集 秋田県重要遺跡調査報告書Ⅲ — 高野遺跡 —				
内容	遺跡の時代	縄文時代、平安時代			
	遺跡の性格	縄文時代：散布地、平安時代：集落跡			
	検出遺構	平安時代：竪穴建物跡65棟、溝状遺構1条、柱穴様ピット7基			
	出土遺物	縄文時代：土器、石器 平安時代：土師器、須恵器、土錘、羽口、砥石、鉄製品、鉄滓			

書名	秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第26号	発行年月	24年3月
内容	藤沼邦彦 講演「漆下遺跡の出土品から見た縄文文化」 菅野美香子 報告「漆下遺跡の発掘調査」 山村 剛 真崎勇助著『石器送付簿但土器共』の翻刻 谷地 薫 中国甘肅省武威市磨嘴子遺跡漢墓群の概況と日中合同発掘調査について		

書名	漆下遺跡 ～環状列石とその時代～	発行年月	23年12月
内容	平成23年度 企画展「漆下遺跡 ～環状列石とその時代～」パンフレット 漆下遺跡は、森吉山ダムに沈んだ縄文時代後期（約4,000～3,000年前）の遺跡。検出された配石遺構や捨て場、出土した土器の編年や土偶、漆・アスファルト関連遺物について概説。		

書名	『北の縄文文化』とストーン・サークル	発行年月	24年3月
内容	中学生向けの縄文文化についての解説パンフレット 北海道～北東北の縄文文化について、教科書で教える内容を補足的に解説。主だった遺跡についても紹介する。		

## 5 活用・普及事業

埋蔵文化財センターは遺跡の発掘調査業務を行っている。また、これらの成果と数多くの文化財を活用して、秋田の歴史・地域の歴史を県民に発信するため活用・普及事業を積極的に推進している。本年度は企画展・バスツアーを基軸に据えた事業展開を進めた。

### (1) 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会

埋蔵文化財センターでは県内で発掘調査を行った遺跡の調査成果を広く県民に知ってもらい、埋蔵文化財の保護について理解を深めてもらうことを目的に昭和56年度から毎年報告会を開催している。

#### ① 秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会－平成22年度発掘調査成果－

平成23年3月13日(日)、秋田県生涯学習センターを会場に開催する計画で準備を進めていたが、3月11日(金)に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により中止となった。その後報告の機会を設け、5月8日(日)に同会場で「平成22年度発掘調査成果」と題して開催、各地から87名の参加者を得た。参加者は、報告に興味関心を持って熱心に耳を傾け、質問するなど大盛況であった。

#### 【報告内容】

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1 世界遺産登録推進事業について  | 磯村亨 県教育庁生涯学習課文化財保護室学芸主事         |
| 2 下内野Ⅲ遺跡(鹿角市)     | 鹿角市教育委員会 三浦貴子氏                  |
| 3 白館跡(湯沢市)        | 加藤竜 調査班文化財主任                    |
| 4 大館跡(能代市)        | 五十嵐一治 県教育庁弘田柵跡調査事務所調査班学芸主事(兼)班長 |
| 5 黒沼下堤下館跡(秋田市)    | 高橋学 調査班主任学芸主事                   |
| 6 家ノ浦遺跡(にかほ市)     | 築瀬圭二 中央調査班学芸主事                  |
| 7 北檜岡中野遺跡(大仙市)    | 高橋和成 調査班文化財主事                   |
| 8 茂木屋敷跡(大館市)      | 大館市教育委員会 嶋影壮憲氏                  |
| 9 秋田県甘肅省文化交流事業の報告 | 加藤朋夏 県教育庁生涯学習課文化財保護室文化財主任       |

#### 【展示遺跡】※上記報告遺跡を除く。

##### 埋蔵文化財センター調査

前田表遺跡(にかほ市)、横枕遺跡(にかほ市)、月見堂館跡(仙北市)、史跡弘田柵跡(大仙市・美郷町)

##### 市町村教育委員会調査

史跡脇本城跡(男鹿市)、史跡秋田城跡(秋田市)、沖田Ⅰ遺跡(大仙市)、谷地中遺跡(美郷町)、陣館遺跡(横手市)

#### ② 平成23年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会

今年度は平成24年2月26日(日)に秋田県生涯学習センターを会場に開催し、各地から259名の参加者を得た。参加者は報告について質問をしたり、説明に熱心に耳を傾けていた。また、併せて行われた考古学体験教室でも、大人から子どもまでそれぞれ興味関心を持って楽しむ姿が見られ、大変盛況のうちに終了した。

【報告内容】

- |    |                 |                           |
|----|-----------------|---------------------------|
| 1  | 世界遺産登録推進事業について  | 新海和広 県教育庁生涯学習課文化財保護室文化財主任 |
| 2  | 提鍋遺跡（由利本荘市）     | 由利本荘市教育委員会 佐藤錠司氏          |
| 3  | 下内野Ⅲ遺跡（鹿角市）     | 鹿角市教育委員会 三浦貴子氏            |
| 4  | 史跡秋田城跡（秋田市）     | 秋田市教育委員会 伊藤武士氏            |
| 5  | 史跡払田柵跡（大仙市・美郷町） | 加藤竜 調査班文化財主任              |
| 6  | 川口十三森遺跡（大館市）    | 大館市教育委員会 嶋影壮憲氏            |
| 7  | 高野遺跡（仙北市）       | 菅野美香子 調査班文化財主任            |
| 8  | 阿部館遺跡（にかほ市）     | 山田徳道 中央調査班学芸主事            |
| 9  | 清水尻Ⅱ遺跡（にかほ市）    | 高橋和成 調査班文化財主事             |
| 10 | 秋田県甘肅省文化交流事業の報告 | 加藤朋夏 県教育庁生涯学習課文化財保護室文化財主任 |

【展示遺跡】※上記報告遺跡を除く。

埋蔵文化財センター調査

ハケノ下遺跡（北秋田市）、県立聾学校遺跡（秋田市）、家ノ浦Ⅱ遺跡（にかほ市）、横枕遺跡（にかほ市）、清水尻Ⅰ遺跡（にかほ市）、六日市遺跡（にかほ市）、北楯岡中野遺跡（大仙市）

市町村教育委員会調査

史跡脇本城跡（男鹿市）、陣館遺跡（横手市）



展示の様子



展示の様子



会場の様子



会場の様子



考古学体験教室の様子



考古学体験教室の様子

## (2) 遺跡見学会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査の成果を速報的に現地で県民の方々に見ていただくため、発掘調査の期間中に発掘調査現場を公開する遺跡見学会を開催している。現場では出土した遺構や遺物を公開し、担当者が解説を行っている。今年度は阿部館遺跡（にかほ市）、清水尻Ⅱ遺跡（にかほ市）、高野遺跡（仙北市）で見学会を実施し、延べ440名が遺跡を訪れた。

この他、阿部館遺跡、家ノ浦Ⅱ遺跡（にかほ市）、横枕遺跡（にかほ市）では各3日間遺跡公開を実施した。

遺跡名	日時	公開内容	参加者
阿部館遺跡 （にかほ市）	7月24日（日） 13：00～14：30	平安時代の集落跡（掘立柱建物跡、大溝跡、土坑、井戸跡）他	75名
高野遺跡 （仙北市）	8月6日（土） 13：30～15：00	平安時代の集落跡（竪穴建物跡、土師器・須恵器、砥石）他	62名
清水尻Ⅱ遺跡 （にかほ市）	11月12日（土） 13：30～15：00	平安時代～戦国時代の集落跡（竪穴建物跡、道路側溝、土器・陶器）他	303名



阿部館遺跡



高野遺跡



清水尻Ⅱ遺跡

### (3) 学校（教育）サポート

#### ① セカンドスクール

##### ア) 利用状況

学校	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	合計
利用件数	23	9	0	6	38
利用人数	542名	457名	0名	9名	1,008名

##### イ) 活動の具体例

- 1) 縄文土器や石器に触れて用途などを学ぶ体験
- 2) 大昔の人々の知恵に学ぶ「石器づくり」
- 3) 特別展示室や整理作業室の見学
- 4) 地域の遺跡や文化財の学習を支援する「授業サポート」
- 5) 発掘現場の見学



高梨小学校 6年生

##### ウ) 23年度の成果



大曲中学校 1～3年生

新学習指導要領の実施に対応し、展示見学と土器や石器に触れて用途などを学ぶ体験学習をセットにして縄文時代学習の充実を図り、利用者から好評を得た。また、地域の遺跡や文化財に係わる学習について、出土遺物などを活用して支援する「授業サポート」を実施した。震災の影響で、利用時期が例年と異なる学校が多かったが、利用人数に合わせて日程や活動内容を調整し、利用促進に努めた。

#### ② ボランティア・職場体験（インターンシップ）

平成18年度からセカンドスクールの利用の一環としてボランティア活動や職場体験（インターンシップ）の受け入れを始め、今年度は中学校1件4名、高校2件3名の利用があった。

ボランティアは社会貢献や社会参加の活動を通じて豊かな人間性を育むことをねらいとし、職場体験（インターンシップ）は職業に関する理解を深めることを目的として行った。

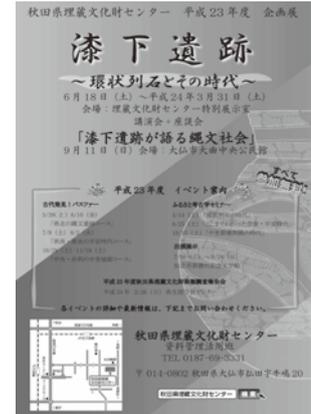


角館高校 2年生

(4) 主催事業

① 企画展

今年度は、「漆下遺跡～環状列石とその時代～」と題して平成23年6月18日～平成24年3月31日の期間に開催した。平成19年から通算で8回の企画展を実施したことになる。これに伴う講演会+座談会「漆下遺跡が語る縄文社会」を9月11日に大仙市大曲中央公民館小ホールを会場として行い、92名の参加者を得た。



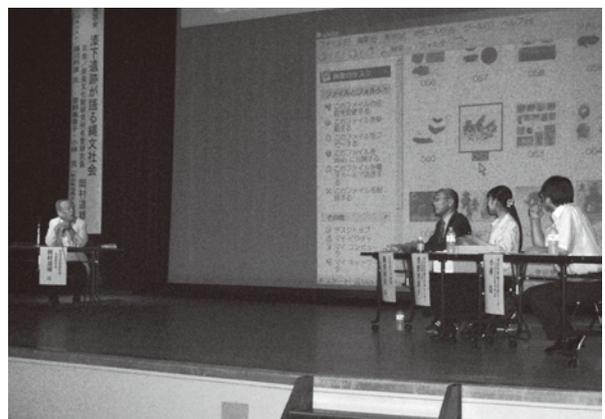
企画展 「漆下遺跡～環状列石とその時代～」

【平成23年度企画展 講演会+座談会「漆下遺跡が語る縄文社会」】

講師等		講演題・内容
秋田県埋蔵文化財センター文化財主任	菅野美香子	報告「漆下遺跡の発掘調査」
元弘前大学教授	藤沼邦彦氏	講演「漆下遺跡の出土品から見た縄文文化」
司会：奈良文化財研究所名誉研究員 パネリスト：秋田県埋蔵文化財センター 主任文化財専門員 上記講師2名	岡村道雄氏 小林 克	座談会 「漆下遺跡が語る縄文社会」 漆下遺跡の発掘調査成果と当時の生活・文化について議論した。



講演中の藤沼邦彦氏



座談会の様子

## ② ふるさと考古学セミナー

### 第1回 「環状列石の時代」

期 日：平成23年5月14日（土）

会 場：大館市立中央公民館

参加者：26名

講 師：榎本剛治氏（北秋田市教育委員会）

三浦貴子氏（鹿角市教育委員会）



現在、世界遺産暫定リストに登載されている「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である北秋田市伊勢堂岱遺跡、鹿角市大湯環状列石の2遺跡に焦点をあてセミナーを開催した。この2つの環状列石の最近の発掘調査成果を、それぞれの遺跡の調査担当者から報告してもらった。後半ではセミナーのテーマについて座談会を行い、その構造上の特徴や成り立ち、さらには北の縄文文化に占める位置付けを考えた。また、企画展「漆下遺跡～環状列石とその時代～」の開催予告も併せて行った。

### 第2回 「ここまでわかった奈良・平安時代」

期 日：平成23年6月25日（土）

会 場：秋田県埋蔵文化財センター

参加者：45名

講 師：齊藤浩志氏（大仙市教育委員会）

山形博康氏（美郷町教育委員会）



払田柵跡をめぐる大仙市内と美郷町内にある遺跡、半在家遺跡と新山遺跡（いずれも大仙市）と城方小屋遺跡、森崎Ⅱ遺跡、厨川谷地遺跡、八幡遺跡、根子荒田Ⅰ遺跡、谷地中遺跡（いずれも美郷町）について、それぞれの担当者が詳細な資料をもとに発掘調査成果の報告を行った。後半の座談会では、これらの遺跡と払田柵の関係や、遺跡をとおしたこの時代の生活・文化・交易などを考えた。参加者からの質問も多く、関心の高さと今後の調査・研究に対する期待の大きさを感じた。

### 第3回 「中世群雄割拠の時代」

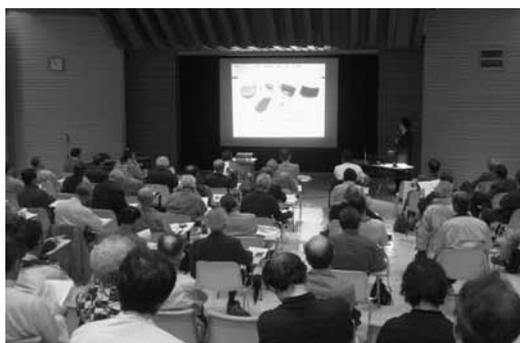
期 日：平成23年10月15日（土）

会 場：秋田県立博物館

参加者：109名

講 師：五十嵐祐介氏（男鹿市教育委員会）

神田和彦氏（秋田市教育委員会）



第3回は中世をテーマに、中世の秋田を知る上で欠くことのできない安東氏との関わりが深い脇本城跡、湊城跡について、周辺の関連遺跡を含めた最近の発掘調査成果を各担当者から報告してもらった。後半の座談会では、参加者からの質問に応じながら、2つの遺跡が持つ意味や安東氏の役割などを考えた。参加者からの質問も多く、関心の高さと今後の調査・研究に対する期待の大きさがうかがえた。また、遺跡の出土遺物も展示し、実見しながらの展示解説も行い、参加者からは好評を得た。

### ③ 古代発見！バスツアー

遺跡や史跡をバスで巡回し、郷土の歴史や文化財について理解を深めてもらうとともに、埋蔵文化財センターの活動を広く知ってもらおうという事業である。今年度は、発着地に秋田市のほか大館市、大仙市、由利本荘市を加え、計6回実施した。

回	期日・参加人数	内 容 ・ コ ー ス
第1回	5月28日(土) 【参加者15名】	企画展「漆下遺跡」に関連する県北の環状列石を巡見。ガイドは埋蔵文化財センター職員が行い、伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石ではそれぞれボランティアガイドの方々に解説をしていただいた。 ・大館市立中央公民館→国史跡伊勢堂岱遺跡(北秋田市)→国特別史跡大湯環状列石(鹿角市)→高屋館跡(鹿角市)→大館郷土博物館→大館市立中央公民館 ※大湯環状列石ストーンサークル館で昼食・休憩。 ※大館市教委職員に車中のガイドと博物館での解説をしていただいた。
第2回	6月10日(金) 【参加者47名】	第1回と同じ内容。(大館郷土博物館の見学を除く) ・県生涯学習センター→伊勢堂岱遺跡→大湯環状列石→高屋館跡→県生涯学習センター
第3回	7月9日(土) 【参加者17名】	県南・県央の平安時代遺跡を巡見。ガイドは埋蔵文化財センター職員が行い、秋田城跡、新山遺跡、金沢柵跡では各地教委職員の方々に解説をしていただいた。 ・大曲中央公民館→金沢柵跡(横手市)→国史跡払田柵跡(大仙市)→埋蔵文化財センター→新山遺跡(大仙市)→国史跡秋田城跡(秋田市)→大曲中央公民館 ※埋蔵文化財センターで企画展「漆下遺跡」の見学と昼食・休憩。
第4回	8月2日(火) 【参加者25名】	第3回と同じ内容。 ・県生涯学習センター→秋田城跡→新山遺跡→埋蔵文化財センター→払田柵跡→金沢柵跡→県生涯学習センター
第5回	10月29日(土) 【参加者25名】	中央・由利の中世城館等を巡見。ガイドは埋蔵文化財センター職員が行い、岩倉館跡では由利本荘市の鈴木登氏に、山根館跡ではにかほ市の池田史郎氏にそれぞれ解説をしていただいた。 ・西目総合支所→清水尻Ⅱ遺跡(にかほ市)→県史跡山根館跡(にかほ市)→横山遺跡・岩倉館跡(由利本荘市)→県史跡豊島館跡遠望(秋田市)→虚空蔵大台滝遺跡(秋田市)→西目総合支所 ※にかほ市有形文化財旧佐々木家住宅で昼食・休憩。 ※清水尻Ⅱ遺跡では発掘調査の様子を見学。当センター職員が解説。
第6回	11月19日(土) 【参加者28名】	第5回と同じ内容。 ・県生涯学習センター→虚空蔵大台滝遺跡→豊島館跡遠望→横山遺跡・岩倉館跡→山根館跡→清水尻Ⅱ遺跡→県生涯学習センター

各コースとも新聞・チラシ・ホームページ等で広報したが、秋田市発着便は毎回定員を超え、抽選で参加者を決定した。特に第2回は3倍近い応募があったため、急遽バスを大型にするなどして対応した。7、8月実施の第3、4回は猛暑、10、11月実施の第5、6回は寒冷が心配されたが、日程やコースを吟味し、参加者の安全面に配慮した結果、無理なく予定の見学地を回ることができた。また、遺跡や史跡の解説を地元の方々をお願いしたことで、地域の人材活用を推進することができた。



第1回 国特別史跡大湯環状列石の見学



第2回 国史跡伊勢堂遺跡の見学



第3回 金沢柵跡の見学



第4回 国史跡秋田城跡の見学



第5回 県史跡山根館跡の見学



第6回 清水尻Ⅱ遺跡の見学

#### ④ 出張展示

出張展示は、これまでの発掘調査成果を遺跡が所在する地元の県民に公開し、地域の歴史や埋蔵文化財に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的とする。

今年度は、平成23年7月16日（土）～8月21日（日）の期間に、仙北市教育委員会との共催により、仙北市新潮社記念文学館を会場に「田沢湖畔の縄文文化～潟前遺跡と黒倉Ⅰ遺跡～」を開催した。田沢湖畔に立地する潟前遺跡と玉川沿いに立地する黒倉Ⅰ遺跡の出土品、写真パネル、武藤鉄城関係資料等約100点を展示した。

期間中、8月7日（日）には展示解説を2回行った。来場者はとても熱心に展示に見入り、旧石器時代、縄文時代の暮らしに関する質問も多く出るなど盛況であった。特に潟前遺跡出土の旧石器、アスファルト容器の縄文土器、天然アスファルト塊は注目を集めた。期間中の来場者は623人であった。



#### (5) 共催・機関連携等による普及事業

##### ① 農業科学館まつり

7月31日（日）に開催された「農業科学館まつり」で、協力団体の一つとして「縄文時代の遊びと生活体験」のコーナーを設け、訪れた親子に石器づくりや弓矢体験を楽しんでもらった。それぞれ10～15分程度の体験で、夏休み中の日曜日ということもあり、延べ153人の参加者で終日賑わった。

農業科学館で体験教室を行うのは初めてであったが、他の団体のコーナーとともに利用してもらい、普段、埋蔵文化財センターにあまり縁のない方々にもPRすることができた。



石器づくり



弓矢体験

## ② 土器に生ける秋の草花展

県立農業科学館との共催で、10月15日から10月30日まで開催した。今年度は大館市池内遺跡出土の縄文土器13点と関連するパネル資料を展示した。秋の草花は東大曲小学校生け花クラブの児童にアレンジしてもらい、土器と調和したバラエティーあふれる作品ができた。また、縄文土器の施文体験ができるコーナーを設け 見学者に文様の付け方を実見してもらった。期間中、複数の新聞に取り上げられるなど話題となり、多数の見学者があった。



農業科学館展示会場

## ③ 県庁出前講座

月 日	要 請 団 体	内 容	番号	講師	会 場
8月2日 (火)	秋田市 生涯学習室	出土品から学ぶ秋田の歴史 【参加者約23名】	168	所長	將軍野地区コミュニティーセンター
8月8日 (月)	秋田市 生涯学習室	出土品から学ぶ秋田の歴史 【参加者約90名】	168	所長	秋田市北部市民サービスセンター
8月17日 (水)	秋田市 生涯学習室	出土品から学ぶ秋田の歴史 【参加者約12名】	168	所長	外旭川地区コミュニティーセンター
8月23日 (火)	秋田市 生涯学習室	出土品から学ぶ秋田の歴史 【参加者18名】	168	所長	寺内地区コミュニティーセンター

今年度は4件の要請があった。いずれも秋田市生涯学習室からの要請で、「近世の久保田城下」を主な内容とした。城下絵図を示したり、東根小屋町遺跡、藩校明德館跡の発掘調査成果にも触れながら説明していた。参加者は質問をしたり、説明に熱心に耳を傾けるなど興味関心が高かった。

## ④ 発掘！考古ゼミ

生涯学習センターとの機関連携事業である。県の教育機関が連携し、相互に特徴を活かすことにより活性化を図ることを目指した。今年度は秋田県生涯学習センターを会場に4回開催し、秋田市を中心に多くの受講者を得ることができた。

回	日時	講演テーマ	講師
第1回	11月4日(金) 10:00～11:30	阿部館遺跡の発掘調査成果	中央調査班 学芸主事 山田徳道
第2回	11月11日(金) 10:00～11:30	黒沼下堤下館跡の発掘調査成果	調査班 主任学芸主事 高橋 学
第3回	11月18日(金) 10:00～11:30	北橋岡中野遺跡・月見堂館跡の 発掘調査成果	調査班 文化財主事 高橋和成
第4回	11月25日(金) 10:00～11:30	白館跡の発掘調査成果	調査班 文化財主任 加藤 竜



県庁出前講座



県庁出前講座



第2回 発掘！考古ゼミ



第4回 発掘！考古ゼミ

(6) その他

① 所蔵資料・古代体験キット・ビデオの貸出実績

年 度	21年度	22年度	23年度
所蔵資料貸出数	20件	26件	17件
キット貸出数	4件	5件	4件
ビデオ貸出数	0件	0件	0件
火起こし貸出数	1件	2件	2件

※所蔵資料貸出内訳

資 料 種 別	使用目的（複数利用含む）		
	展示公開	書籍等掲載	研究他
遺 跡 出 土 品	9件	2件	0件
フィルム写真データ	0件	1件	0件
デジタル写真データ	1件	5件	0件
そ の 他	0件	2件	0件

## ② センターの開放と展示

見学者によりよく身近に埋蔵文化財を理解していただくために「いつでもギャラリートーク」を行っている。これは、平日の開館時間に来所された見学者には、要望に応じて専門職員がいつでも展示品の解説を行うというものである。さらに展示ケースを開けて実際の遺物に触れていただき、展示品を「見る」だけでなく、古の息吹をじかに「感じて」いただけるようにしている。ギャラリートークの所要時間は見学者の希望に合わせて15～30分程度である。また、企画展パンフレットや過去の印刷資料なども自由に持ち帰れるようにしている。

	開館時間	見学可能箇所
平日	8:30～17:00	特別展示室・第1収蔵庫(※)・整理収蔵庫(※)
土・日・祝日	9:00～16:00	特別展示室

(休館日：1月1日～3日、12月29日～31日)

※は職員の案内によって可能

## ③ 収蔵庫整理・収蔵展示

緊急雇用対策基金事業「収集資料等整理事業」により、第1収蔵庫、第2収蔵庫、男鹿収蔵庫の収蔵物について運搬、整理作業を行った。

出土遺物の収蔵は、報告書掲載遺物収納コンテナに黄色ラベル、未掲載遺物収納コンテナに青ラベルを付け、青ラベル遺物はすべて男鹿収蔵庫に搬送し収蔵した。男鹿収蔵庫内には約15,000件、中コンテナ換算で約26,000箱分の遺物が収蔵されたことになる。黄色ラベル遺物は、第1収蔵庫、第2収蔵庫に収蔵した。

また、第1収蔵庫1階北側は、虫内遺跡(横手市)と池内遺跡(大館市)の遺物の一部を棚に露出して置く「収蔵展示」を行った。スチール棚の一部について、上段と下段に遺物コンテナを収納し、中段には上下段に収納している遺物の一部を取り出して露出展示し、遺物キャプションを添付した。

これは、通常は来所者の立ち入りを制限している収蔵庫について、バックヤードの公開と遺物露出展示の二重の効果によって来所者の埋蔵文化財センターに対する興味関心を高めるとともに、特別展示室では公開しきれない所蔵遺物をできるだけ多く公開することを目的とする、収蔵遺物活用方策である。

## (7) 研究論文・講演など

### ① 研究論文・研究発表など

(平成23年7月)

〈発表〉高橋 学 「沼柵周辺の古代・中世—造山地区を手がかりに—」『後三年合戦沼柵公開講座』横手市雄物川コミュニティセンター

(平成23年8月)

〈論文〉利部 修 「本州北端の刻書土器—道教的信仰から見た「木」の考察—」『梅檀林の考古学—大竹憲治先生還暦記念論文集—』纂修堂

(平成23年9月)

- 〈発表〉高橋 学 「律令政府と蝦夷ー出羽国城柵が蝦夷社会に及ぼした影響とは何かー」『東アジアの古代文化を考える会』東京都豊島区生活産業プラザ
- 〈論文〉高橋 学 「都市平泉成立の淵源に出羽国城柵の存在」『都市のかたち』山川出版社
- 〈論文〉高橋 学 「都市・城館研究の最新動向2010・4～2011・3 北海道・東北」『都市のかたち』山川出版社

(平成23年10月)

- 〈資料〉柴田 陽一郎 「秋田県の古代生業」『一般社団法人日本考古学協会2011年度栃木大会シンポジウムⅢ 古代社会の生業をめぐる諸問題 研究発表資料集』日本考古学協会2011年度栃木大会実行委員会

(平成23年12月)

- 〈発表〉小林 克 「『三内丸山遺跡などの盛土遺構の研究』を通して 盛土遺構ー捨て場・儀礼・葬送」平成23年度南北海道考古学情報交換会
- 〈論文〉高橋 和成 「秋田における古代火葬墓の一樣相」『秋田考古学』第55号 秋田考古学協会
- 〈論文〉高橋 学 「秋田県内出土の擦文土器・擦文系土器」『秋田考古学』第55号 秋田考古学協会
- 〈論文〉高橋 学 「古代出羽国における城柵・城館の行方」『前九年・後三年合戦ー11世紀の城と館ー』高志書院
- 〈論文〉利部 修 「虚空蔵大台滝遺跡ー清原氏の城館ー」『前九年・後三年合戦ー11世紀の城と館ー』高志書院

(平成24年1月)

- 〈発表〉高橋 学 「発掘最新情報! にかほ市内の遺跡が語ること」『郷土史市民講座』にかほ市金浦勤労青少年ホーム

(平成24年2月)

- 〈発表〉高橋 学 「平成23年度調査成果報告 清水尻Ⅱ遺跡」『第38回古代城柵官衙遺跡検討会』東北歴史博物館
- 〈資料〉高橋 学 「清水尻Ⅱ遺跡」『第38回古代城柵官衙遺跡検討会ー資料集ー』東北歴史博物館
- 〈資料〉村上義直 「家ノ浦Ⅱ遺跡の発掘調査概要」『第38回古代城柵官衙遺跡検討会ー資料集ー』東北歴史博物館

(平成24年3月)

- 〈発表〉高橋 学 「にかほ市平沢で発見された古代官道の意味すること」『由理柵・駅研究会』第11回例会 由利本荘市ポンパル
- 〈論文〉小林 克 「北の縄文『円筒土器文化の世界』」北の縄文研究会 編
- 〈論文〉小林 克 「クマと土偶とシャマンと」『東北芸術工科大学東北文化研究センター ORC 総括報告書』
- 〈論文〉小林 克 「三内丸山遺跡などの盛土遺構の研究」『特別史跡三内丸山遺跡年報15』

② 講座など

(平成23年6月)

- 谷地 薫 「秋田県甘肅省合同発掘調査について」成人学級『秋田の史跡を学ぶ会』秋田市東部公民館

## 6 運営協議会

第1回 平成23年6月8日（水）

委員：岩見誠夫（委員長）、藤原保子（副委員長）、高橋茂則、石井義広（代理：布谷英司）、  
須田綾子、池田光英

事務局：高橋所長、齋藤副所長、鹿角総務班長、利部調査班長、榮中央調査班長、  
小林資料管理活用班長、山田祐子文化財主事

所長の挨拶のあと、参加委員、事務局職員の紹介が行われ、次いで委員長、副委員長の選出がなされた。選出後は委員長司会のもと、事務局から平成23年度の発掘調査計画、保管活用事業を中心とした公開普及関係の計画について説明が行われた。その後特別展示室の見学を行った。見学後は主に埋蔵文化財センターが行っている活用事業について、委員からの質問や提言がなされた。展示やイベントを多くの県民に知ってもらうための告知の工夫とイベントチラシを配布したあとのケアが必要であること、足を使い、他の組織の文化的イベントでもPRを行い、「特別なもの」という壁のある印象から「身近なもの、おもしろいもの」といった親しみやすい印象を与えるようにすること、公式サイトでの公開に加えて、高齢者に合わせた情報公開の検討などが提言された。また埋蔵文化財や史跡マップの作成、史跡めぐりの番組製作などの例も紹介された。企画展については、時代や場所などがイメージできるタイトルや解説の工夫が必要との指摘があった。最後に事務局から提言いただいたことについて検討する旨と謝辞が述べられて閉会した。

第2回 平成24年2月7日（火）

委員：岩見誠夫（委員長）、藤原保子（副委員長）、高橋茂則、石井義広（代理：布谷英司）、  
佐藤厚子、池田光英

事務局：高橋所長、齋藤副所長、鹿角総務班長、利部調査班長、榮中央調査班長、  
小林資料管理活用班長、谷地主任学芸主事

所長の挨拶に続き、今年度の発掘調査成果や資料管理活用事業についての報告、発掘調査報告会の告知を行った。次いで企画展を見学し、見学後はセンターの事業について、委員から次のような感想や意見があった。清水尻Ⅱ遺跡見学会では参加者が300人を越え、今後の調査活動に対する期待が膨らんだと評価をいただいた。活用事業についても、各地で考古学セミナーも行き、公式サイトでPDF形式の資料を配布するなど利用者への対応に工夫が見られるという感想があった。セカンドスクールについても、利用する学校が多く、メニューが多様で「本物体験」ができ、学校としてはありがたいという評価と今後も教員をサポートしてほしいという要望があった。一方、センターにもっと気軽に入れるシステム作りの一つとして、展示室を見せるだけでなく、職員の「話を聞く」機会を設けたり、石器づくりや土器づくり体験などの大人にも楽しめる体験メニューをそろえた「シニア講座」を開催してはどうかという意見があった。「話を聞く」ことや体験が印象に残り、口コミで広がり、入館者数増につながるのではないかということである。また払田柵跡や道路から見て看板が目立たないという指摘もあった。最後に事務局からこのような感想や意見をもとに、着実に埋蔵文化財への興味が広がる土台を築いていくよう努めることと謝辞を述べ閉会した。

## V 平成23年度研修事業

### 教職10年経験者研修

実施日：平成23年8月8日～8月10日      研修者：柳田 健（仙北市立西明寺小学校）

### 養護学校実習

実施日：平成23年7月25日～7月29日      研修者：越後里美（秋田県立大曲養護学校）

実施日：平成23年11月14日～11月25日      研修者：高根大樹（秋田県立栗田養護学校）

実施日：平成23年11月28日～12月9日      研修者：中村草介（秋田県立大曲養護学校）

実施日：平成24年2月27日～3月2日      研修者：高根大樹（秋田県立栗田養護学校）

### 職場体験活動

実施日：平成23年7月27日～7月29日      研修者：山崎 星（秋田修英高等学校）

実施日：平成23年8月8日～8月10日      研修者：斉藤加奈（秋田県立角館高等学校）

実施日：平成23年8月8日～8月10日      研修者：千葉卓也（秋田県立角館高等学校）

### 博物館館外研修

実施日：平成23年8月31日

研修者：伊藤友美 船木里香 加藤結希 齋藤希美 小田真由美 佐藤麻衣子 畠山亜希衣  
伊藤春菜 小玉奈々子 佐藤朗子

引率者：船木信一 吉川耕太郎 藤原尚彦 中村美也子

### 防災避難訓練

実施日：平成23年4月27日

研修者：センター職員

### 交通安全講話

実施日：平成23年12月5日、12月7日

研修者：センター職員

### 技術研修会

実施日：平成23年8月29日

研修者：センター職員、宇田川浩一（文化財保護室）、吉川耕太郎（県立博物館）、  
齋藤浩志（大仙市文化財保護課）

### 県外研修

実施日：平成23年11月9日～11月12日

研修者：齋藤邦弘 谷地 薫

## VI 職員名簿

職 名	氏 名
所 長	高 橋 務
副 所 長	齋 藤 邦 弘

### 総務班

副主幹（兼）班長	鹿 角 岳 雄
副 主 幹	久 米 保
主 査	小 松 正 典
非常勤職員	櫻 田 隆

### 調査班

主任文化財専門員（兼）班長	利 部 修
副 主 幹	柴 田 陽一郎
副 主 幹	栗 澤 光 男
主任学芸主事	高 橋 学
（兼）学芸主事	五十嵐 一 治
学芸主事	佐々木 尚 人
文化財主任	加 藤 竜
文化財主任	菅 野 美香子
文化財主事	高 橋 和 成
臨時的任用職員（調査・研究員）	高 橋 由 直
臨時的任用職員（調査・研究員）	田 村 瑞 保

### 中央調査班

副主幹（兼）班長	榮 一 郎
副 主 幹	新 山 信 征
主 査	菊 地 尚 久
学芸主事	山 田 徳 道
学芸主事	築 瀬 圭 二
学芸主事	袴 田 道 郎
学芸主事	水 品 仁 志
学芸主事	山 村 剛
文化財主査	村 上 義 直
非常勤職員	泉 明

### 資料管理活用班

主任文化財専門員（兼）班長	小 林 克
主任学芸主事	谷 地 薫
学芸主事	小 徳 晶
学芸主事	堀 川 昌 英
文化財主事	山 田 祐 子

# 秋田県埋蔵文化財センター年報30

(平成23年度)

発 行 平成24年3月  
秋田県埋蔵文化財センター  
〒014-0802 大仙市払田字牛嶋20番地  
電 話 (0187) 69-3331  
F A X (0187) 69-3330  
[URL] [http://www.pref.akita.jp/  
gakusyuu/maibun\\_hp/index2.htm](http://www.pref.akita.jp/gakusyuu/maibun_hp/index2.htm)

印 刷 株式会社三森印刷









